

松虫タイムス

千葉大学・園芸学部・応用昆虫学研究室, 環境生物学的研究室, 応用動物昆虫学研究室 同窓会

第17号

2008.10.20 発行 <http://www.h.chiba-u.jp/insect/matsumushi/>

松虫タイムス 17号発行にあたって

松虫タイムス

会長 左近司 昌弘

秋、台風のない暑い暑い夏もどうやら終わりを告げ、涼風が肌にやさしい風を送ってくれる季節になりました。皆様、元気でお過ごしのことと思います。

暑い盛りの7月、「本山先生ご退官を祝う会」を遅れ馳せに行い、この9月には後任の先生の着任と確実に時は経過しています。今回はこの報告やら100周年記念事業の募金の中間報告、学会のことや研究室の情報、松戸キャンパスの西千葉移転のことなどをお送りします。向後に係わることが多いので精読頂きたいと思います。

園芸学部、次の百年をどこで・・・

松虫タイムス

応用動物昆虫学研究室教授

環境健康フィールド科学センタ長 天野 洋

松 虫会の皆様には、ご無沙汰しております。

会員の皆様には馴染みが薄いかも知れませんが、西千葉キャンパス北側に隣接して東京大学の敷地があります。生産技術研究所などを有する約6haの敷地ですが、当該研究所の「柏キャンパス移転」を決定した東京大学は、「仁義を切って」まず千葉大学に購入希望の有無を打診してきました。これを受けて、本学の本部・役員は園芸学部の西千葉移転の希望を、松戸に打診してきました。総額200億円を超える大事業ですが、今、園芸学部内はこの問題で揺れに揺れています。

松戸の地で歩み刻んだ100年の歴史は、決して軽いものではありません。一方で、総合大学に入学した学生が、たった1年間で西千葉を離れ、設備・施設・大学の支援体制・校友の広がりなどにおいて劣悪な状況で残り3年間を過ごさざるを得ない現状には、かねがね教官も申し訳なく思っています。少子化の中で、より有利なキャンパス条件を整え、入学者倍率を確保したい側面もあります。さらに、大学内における学部の存在感を高めるには、西千葉移転も有効かも知れません。

この問題の結論が出るには、あと数ヶ月を要するかと思います。移転の有無に係わらず、園芸学部／園芸学研究科だけでなく、応用動物昆虫学研究室にとっても、今まで通りの100年と同様の100年を今後繰り返す事は許されません。千葉大学のモットーである「より高きものを目指して」研究室も新たな発展を目指す事が肝心です。大学（人）の基本である、「教育と研究」を再認識して、新たな1歩を踏み出す機会としたいと私は考えています。機会があれば、松虫会の皆様のご意見をお寄せ下さい。

秋が急に深まってきました。皆様方にはどうかご自愛下さりお元気にお過ごし下さいませ。



7月19日（土）に、本山直樹先生のご退職お祝い会を、松戸伊勢丹のバンケットルームで中華料理をいただきながら行いました。30名の方々が集まり、楽しい話、懐かしい話、そして近況と花が咲きました。

本山先生は、今年の農薬混入餃子事件以来、いろいろな食の安全に関わっていますから、ご退職というよりはまだまだ現役ど

っぷり感があり、お話もそのような講演会のような感じでした。

2次会も行われ、名残を惜しみつつ、再会を約束しながら散会となりました。10月からは東京農業大学に籍を移した先生ですが、共同研究という形で千葉大学に関わっていらっしゃるようですので、このタイムスにも原稿をいただこうと思います。

本山先生の後任の先生は、森林総合研究所から中牟田 潔（なかむた きよし）博士をお迎えしました。10月から化学環境適応論の講義もされていますが、本格的に始動されるのは来年4月からです。また改めて紹介します。

研究室の近況

研究室は、概ね例年と変わらない状況です。天野先生がセンター長となっている関係で、柏のセンターで研究を行っている人もいます（博士課程の留学生2名）。

新メンバー情報ですが、7月には5名の3年生（男2名、女3名）が入室しました。夏休み中の昆虫採集実習では、森林総合研究所の多摩森林科学園にお邪魔して、昆虫採集や現地のOB井上大成研究員に、鱗粉転写を習うなどすっかりお世話になりました。どうもありがとうございました。

また、10月からは社会人入学の博士課程の方が入りました。オオメカメムシの研究を千葉県農林総合研究センターでされている大井田寛さんです。オオメカメムシのテーマとかで研究室に関わりのある人です。1年間で学位を取得する予定ですから頑張ってもらいたいと思います。この他に、4月から修士課程入学予定の中国からの留学生、王さん（南京農業大学から以前1年留学していた王先生のお弟子さん）と、やはり4月から博士課程入学予定のエジプトからの留学生、Ghazyさんが加わりました。総勢6人（5カ国）の留学生を抱える研究室となり、国際色豊かになってきました。

西千葉への移転問題

天野先生も巻頭で触れていますが、園芸学部は現在、西千葉への移転が取りざたされています。このタイムスが出る頃には、まだ何もわかっていないのですが、現在は西千葉からの移転に関する提案を待っている状況です。それを待ってこちらで審議することになるのだと思います・・・しかし松戸市や市民団体をはじめ多くの「移転反対」運動が起こっていたり、このところの金融不安等でまだまだ先は不透明です。

もちろん、いろいろ重要なことが決まったりした場合は、臨時号として皆様にお伝えすることは、いうまでもありません。また、100周年事業も移転問題により、少しトーンダウンしているようです。しかし祝賀会は行われるようですし、松虫会としての寄附金も学祭のときに渡す予定となっています。

ということで、まだはっきりしたことが何もわからない状況ですので、もう少しお待ち下さい。

平成 20 年の「名月を愛でる会」は、総会のない年なので、9 月 13 日（土）、会場を変えて 3 回目、日本橋室町の「好成軒」で 17 名の参加を得て行われた。

冒頭、今年 5 月に逝去された高梨泰治氏（第 1 回卒）に黙祷を捧げた後、会長から「名月を愛でる会」として H 11 年 9 月に発足してから今年は 10 回目になる、その間、全卒業生にアンケート調査をして「松虫会」を復活したこと、2 年に一度の総会、総会のある年は 5 月、ない年は 9 月にこの会を開催して今日になった、最多出席数は初回 19 名、今回はそれに次ぐ 17 名である、今日 13 日は明日が十五夜、その近くの土曜日なので選んだと。

今宵 17 名は常連に加え、若手として小川、前回に継いで小林、上遠野、忙しい中久しぶりの大内、二度目の平井に、初参加の藤家、湯浅、そして紅一点の市川、体調を崩して心配された松葉、村井の諸氏に退官後の本山と多士済々の顔ぶれ。定刻前に全員が揃ったので、喜寿になられた村井氏の乾杯の音頭で開宴した。

料理は突き出し、刺身、鍋にフライ。飲み物は地ビール、ビール、焼酎に日本酒で各自ご自由。久しぶりに顔を合わせたからか話が弾む。頃合を見て近況報告。中でも気を引いたのが本山氏。退官後は東京農業大学に 10 月から、そして話題は農薬と食の安全。農薬と名乗る唯一の会社となった日本農薬社長の 大内氏。各々働いている人は人なりに、ボランティアに精を出している人もそれなりに頑張っている様子が生き生きと報告され気持ちが良い。暇をもてあます人生は良くない。ボケと早死になる例が多いから、外に内に楽しみ（生きがい）を持つことが大切ではなからうか。報告が一通り終わった頃、2～3 提案があった。1) 昼間の開催はどうか 2) 地方で定年になった友を呼ぶのはどうか と。この会は日帰りできる関東在住の友を対象にしているが、第 19 回卒がそろそろ 60 歳の定年を迎えるという現実を考えると範囲を広げて案内を出しても良い。ただ、今の通信費は出席者からのもので賄っているので、皆様の了解が得られればやってみる必要がある、と諮ったところ賛成多数だった。時刻も 9 時近くなったので集合写真を撮って散会した。



● 提案について：

- 1) 加齢と共に夜行能力が低下するので・・・
- 2) 遠距離の人の参加が期待できる

などの理由で他の会でも昼間の開催が採用されているから実施してみる。土曜日は働いている人も休みが多いから、今まで通りにして段取りを進めるとすると、

次回の日取りは、2009 年 5 月 17 日（第 3 土曜日）正午 集合 12 時 30 分 開宴

（昼食の時間は何方も 12 時近辺なので、この時間位が一番評判がよい）

広報の仕方はまず『松虫タイムス』の本号と次号で呼びかける。

出席を希望する人、又はもしかして出席できるかもと思う人で案内が欲しい人は下記に連絡して下さい。

〒349-0101 蓮田市黒浜 1675-6 左近司 昌弘 宛

皆様のおかげで、100周年記念事業の募金を、ほぼ目標額集めることができました。足りない分は教員と松虫会の方から援助することとします。以下に名前を記して感謝いたします。もちろん、今からでも間に合いますから、今回の振り込み用紙をお使いの場合は必ず連絡欄にご記入下さい。

100周年記念事業に寄附して下さった方々（敬称略：50音順）

伊東 壮・岩上 親弘・岩田 浩司・上野 慰夫・上原 さとみ・大井 正典・大内 脩吉・大川 義清・大重 義生・大西 祐子・小野 泰正・香川 晴彦・笠松 紀美・加藤 勉・川原 素子・北林 聡・木村 養市・桐原 重樹・國本 佳範・栗原 雄造・小池 朗・後藤 哲雄・小堀 陽一・小谷野 伸二・斉藤 健一・左近司 昌弘・澤崎 靖夫・塩田 正明・渋谷 重男・渋谷 昇吾・清水 武彦・東海林 修・末松 茂孝・鈴木 政史・高木 素子・竹内 将俊・武田 由紀・竹部 靖乃・田代 祐二・高橋 毅・高橋 侑美佳・角田 隆・徳村 潤・都丸 勇・中垣 至郎・中里 晴夫・中込 忠雄・成田 正二・布川 美紀・萩原 宏明・萩谷 俊一・長谷川 孝・波多野 連平・浜田 光恵・林 恵子・春山 直人・飛澤 由江・笛木 豊二・深澤 東和・藤原 孝之・前田 正孝・増島 芳美・松本 一字・松本 哲夫・村井 文彦・盛一 嘉則・森 克彦・森本 桂・湯浅 光一・吉田 一郎・吉田 昌子

71名 94,000円

幹事会のお知らせ

今年は総会が開催されませんので、幹事会を開きたいと思います。戸定祭時に開催しようと思いましたが、このタイムスの発行が遅れてしまったので、いろいろご予定もおありでしょう。ということで、11月か12月のどこか土曜日に開催したいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。追ってメールなどいたします。

戸定祭の開催案内

早いもので今年も戸定祭の季節となりました。しかし今年開催期日が例年と異なりますので、ご注意下さい。**2008年10月31日（金）から11月2日（日）までの開催です。11月3日（月・祝）は開催していない** のでご注意下さい！

例年通り、今年も研究室は「大昆虫秘宝展」を開催し、昆虫クイズや虫バッチの配布を予定しています。また、予定では最終日の展示終了後に、軽なお疲れ様会なども計画していますから、お時間がある方は、参加していただき後輩達と語らってほしいと思います。では、皆様のお越しを心からお待ちしています。

編集後記

今回は、発行が大きく遅れてしまいました。理由の一番は私の怠慢ですが、申請書の締め切りや、他大学の講義や、新しく始まる1年生のカリキュラム準備など・・・夏休みから後期に入っても、落ち着かない日々を送っているという感じです。遅くなってしまい皆様にはご迷惑をおかけしました。

もう迫っていますが、今年の戸定祭で皆さんに会えるのを楽しみにしております。なるべく部屋にいますようにしていますが、バタバタしているかもしれません（笑）・・・MN